

## 下野コミュニティエフエム第12回放送番組審議会議事録

開催日時：2022年6月9日10時00分より	開催場所：下野市役所第201会議室
出席委員：猪瀬・小島・鈴木・根橋・本橋・山内	：6名

※発言については趣旨を変えない範囲で一部を省略・要約し、順不同で記載しています。

委員全7名のうち6名の出席をもって会の成立とし、10時00分に開会した。

## 1. 報告事項

### ・運営状況

大型連休などもあったが、この時節柄催しもなく、それに絡める特番も出来なかった。ただし、夏に向けて催事の計画も市内各所であるようなので、下野市さんとの連携番組や取材等も計画する予定である。

他、コロナ関連や災害関連の情報の提供に日々注力している。

(ケーブルビジョン株式会社ラジオ事業部管理責任者)

## 2. 審議事項

### ・議題①…番組内容について

事前に送付した資料(記録物)を各委員が聴取し、それに対して委員が意見を述べた。

※2022年5月20日放送「ムーンライトジャム」

山内委員長：

番組について説明を。

事業者：

4月の番組編成改訂で、これまで音楽のみだった金曜夜間に、生放送番組を新設した。

題名の「ムーンライトジャム」は、「夜の雰囲気」と「音楽」という意味で名付けた。

夜9時から約2時間で、金曜の夜を落ち着いた静かな雰囲気で大人の時間ということ。

音楽は洋楽とジャズを中心に、世間の話題などリラックスして聴けるトークを織り交ぜ、賑やかにならずかつ暗くもならないよう程良いところで。

放送の時点で始まって1ヶ月半になるが、「この時間帯に番組を待ち望んでいた」等のメッセージもいただくなどリスナーの評判は良い。

また、9時30分からの「アップルセレクション」は提供コーナーで、このスポンサーは以前から加盟店になっていただいているが、社長さんが洋楽に造詣が深いということで、コーナーの選曲や曲にまつわる話題をしていただくという企画になっている。

山内委員長：

概要については説明いただいたとおり。番組に対してご意見を。

根橋委員：

「アップルセレクション」は提供ということだが、従来の企業紹介等のCMとは違って、CM感がなく、選曲や話題に社長の人柄が出ている。このようなCMを他でも広げると、収益にもっと繋がるのではないか。

また、このパーソナリティはゆったりと優しい口調で滑舌やイントネーションも良く、まさにこの番組のコンセプトにぴったりで聴きやすい。この方は朝や日曜の番組も担当し、3番組を上手く使い分けて、プロのような話し方と聞いていたが素人さんと聞いて驚いた。総じて良かったという印象。

鈴木委員：

根橋委員の意見に同感。アップルセレクションのスポンサーさんは存じ上げなかったが、色々なお仕事をされている会社とのことで、このようにCM感がないと、かえって関心を持つようなこともあると思う。こういう番組提供のスタイルをもっと広めても良いのでは。

パーソナリティは、落ち着いたトークでリラックス感が溢れていて、安心して聴ける。(テーマの)納豆のトークも、ジャズに納豆?という感じだが、面白い切り口だと思った。メッセージの紹介も上手く織り交ぜて面白い番組作りかと思う。

洋楽やジャズはあまり聴かないので選曲等の評価は全く不能だが、番組としては非常に興味深く、リスナーの反響も良いということなのでぜひ続けていただきたいと思う。

こういった新しい企画がなぜ上手くいったのか、(事業者に)お訊きしたい。

事業者：

一つには、ラジオというものが元々夜に聴くスタイルであるということ。当局の場合は設立時の経緯から生番組は当面は21時というのがあったが、リスナーや地域の方々からはラジオはやはり深夜だよねというご意見を多くいただいていた。

そして、開局から2年が経ち、今もお褒めの言葉をいただいたが、各パーソナリティも個性が出て技術的にも上がってきている者も増えている。

そこで、夜間帯の需要に応えつつ、新たなコンセプトでそれに合ったパーソナリティを配置したことではないか。

鈴木委員：

番組の最後の方でメッセージを紹介していたが、そのメッセージは番組中に届くのか。番組の初めにメッセージを募集していたが、(それを聴いて)番組中にメッセージをくれる人がいるのか。

事業者：

8割方は番組中に送ってくださる。番組にもよるが、テーマを設けている場合があり、そのテーマを発表するのが冒頭であることが多いので、番組を聴きながら送ってくれる。場合によっては、番組で自分のメッセージが紹介されたのを聴いて更に送る人もいる。

鈴木委員：

昔は葉書でやっていたが、(メールで番組中に送れると)確かにライブ感がある。

事業者：

大体は番組の終わり近くになって届くので、時間の関係で紹介できないことも多いが、嬉しい悲鳴ではある。

根橋委員：

(パーソナリティは)放送しながらパソコンの画面を見ているのか。

事業者：

スタジオにメール受信専用のタブレットを置いていて、目の前でメールを確認できる。メッセージは楽曲を掛けている間等にチェックしている。

根橋委員：

夜の番組と言えば、高校生が参加する番組があるが。

事業者：

高校生が参加する番組は土曜の夜で、土日の夜はそれも含めて事前収録で放送している。生は金曜日のみとなっている。

山内委員長：

商工会の会員さんでFMゆうがおについて反応はあったりするか。

本橋委員：

意見をいただいたことは今のところあまりない。以前は電波の状況が悪いということもあったかと思う。会員さんのお店に伺った際、FMゆうがおのラジオが店内に置いてあり、音楽が店内にきれいに流れていたのがFMゆうがおかと思ったら有線放送だった。

なので、市内全域で良く聞こえるようになれば意見も出てくるのではないかと思う。

山内委員長：

上古山だと結構北の方で距離があるのでまだまだ(厳しい)。

小島委員：

ここまでお褒めの意見だったが、私はむしろ非常に気怠く感じた。

また曲紹介も、もう少し丁寧にした方が良かった。

パーソナリティも、この時間帯に合っているのかも知れないが、気怠さを感じた。

納豆のトークを抑えて曲の紹介を丁寧にしてほしかった。

山内委員長：

私も曲を聴いても難しくよく解らなかった。ジャズ好きな人には良い選曲だったのか。

小島委員：

13曲のうち半分程度はキャッチできたが、殆どはあまり聴いたことのないものだった。説明もあまり丁寧ではなかったのが聴いていても疲れてしまった。審議会(の議題)なので聴いたが普段なら聴かないと思った。

山内委員長：

夜の大人のムードのだから気怠さも良いのではないかと思うが？

小島委員：

夜9時以降だから気怠くて良いのかとは思いますが。

本橋委員：

洋楽もジャズも解らないので私も聴いていて非常に辛かった。コンセプトが音楽なので仕方ないのだろうが、洋楽やジャズが好きな偏った方しか聴かないのではないかと思う。音楽を解らない者が聴くと疲れるのではないか。

納豆の話題も、番組の最後だけでなく合間合間に入れば音楽に興味がなくても聴ける。ターゲットが偏ったリスナーだけなのかそれとも広いリスナーなのか、考えを訊きたい。

山内委員長：

番組のコンセプトとターゲットについて少し掘り下げて説明を。

事業者：

厳しいご指摘もいただいたが、逆にご指摘いただいたことが全て狙い通りというところ。気怠さも含めて金曜の夜にゆっくり聴いていただきたいというのもコンセプトである。

広く聴いていただきたいというのは基本的にあるが、と言って万人に聴いていただける番組というのは不可能。

この番組も、洋楽やジャズが解らない方は、聴いても面白くないから恐らく聴かない。ただ、だからと言って日本の音楽を入れたら、今度は番組のコンセプトがずれてしまう。

従って、洋楽やジャズを聴きたい方というのがターゲットの一つとしてある。

そしてもう一つは、金曜の夜にラジオ聴きたい方。金曜の夜にラジオ聴きたくない方は当たり前の話だが当然聴かない。そういう方に向けては特には考えていない。

他の番組も同様だが、時間帯や内容でもともと聴かない方に向けて放送する意味もない。

ご意見あったように好き嫌いや偏りというのは必ず生じるので、万人が聴いて楽しめる番組など存在しない。ニュースでさえお子さんは視ない聴かないであろう。

なので、リスナーが偏るのは織り込み済みで、特にこの番組に関しては前提としている。

小島委員：

ジャズはマニアックで(トークの)納豆は非常に庶民的で、その差があり過ぎた感がある。違うテーマであればまた良かったのかと思う。違うことが良い部分もあるかも知れないが。

鈴木委員：

小島委員の意見も解るが、金曜夜の仕事終わりのリラックスしたいリスナーを対象に、ガチッとした音楽番組ではない、FMゆうがおらしい特色を出した番組作ではないか。

トークにも地元のお店の話題が入っていたり、そういう地域色をアピールできると思う。それに、全国放送でジャズの番組は結構あるので、FMゆうがおらしい特色を出すには、ローカルな話題も入れていかないと。

番組のコンセプトも、ジャズという狭い層をあえてターゲットにする意図が理解できる。次は若年層や子供や年配向けの番組づくりをしていただくと良いと思う。

山内委員長：

新番組ということで反響はこれからだと思うが、これまでなかった夜の番組でもあり、今までは音楽が流れていただけだったので、夜中眠れない時にBGMとして気怠く聴ける、それでトークで笑える、そんなのも良いのではないか。

小島委員：

(テーマの)納豆の効用を調べておいて、納豆がいかに体に良いかというのを情報として入れても良かったのでは。メッセージを紹介するだけでなく、健康にも良い、素晴らしい食品であるという話があっても良かった。自治医大という素晴らしい機関があるのだから。

山内委員長：

テーマを決めるのはいつなのか。どのようなテーマにするか相談があったりするのか。

事業者：

パーソナリティによって違い、前の週に決めることもあれば、当日決める場合もある。番組のコンセプトに沿っていけば良いという指導をしているので確認も原則していない。管理監督はしているがその辺りはパーソナリティの良識に任せている。

小島委員：

当市も高齢化が進んでいる。高齢者向けに夜の時間帯に音楽を聴きながらの健康情報も良いかと思う。

根橋委員：

健康視点の番組があっても良い。健康に関する日常の豆知識的な。自治医大の活用にもなってくる。時間帯は昼間が良いか。今後検討してはいかがか。

小島委員：

私はNHKのラジオ体操を毎日やっている。それを市内で普及したいと活動しているが、指導者がおらず難しい。なのでそういう話題もしていただきたい。

例えばラジオ体操を継続的に流すとか。「FMゆうがおを聴くと健康になるよ！」とか。

山内委員長：

健康情報を提供しているような番組はあるのか。

事業者：

番組としてはないが、話題としては各番組で日常からしており、特に昼間の番組では、かなり多いのではないかと思う。健康情報は多くのパーソナリティ自身の関心事でもある。ただ、パーソナリティも一般市民なので、専門的にというのは難しい。

自治医大さんとの連携については、コロナの影響もあるが、定期的には現状まだない。

いずれ落ち着けば自治医大さんにお問い合わせして専門の先生に出ていただいたり考えている。

根橋委員：

小島委員の仰ったラジオ体操だが、今ちょうどタマネギ収穫のシーズンで皆腰を屈めて作業している。ああいうのを見たら、ラジオ体操を入れても良いのではないかと思う。

事業者：

仰る通りだが、NHKのラジオ体操の音楽は当局では流せない。参考にさせていただく。

根橋委員：

ユーチューブには出ているが。

事業者：

NHKさんから許可があれば別だが、当局では(音楽著作権の関係等で)不可能である。ラジオ体操の話題は各番組でもしているのので、情報があればお寄せいただきたい。

鈴木委員：

市議会議員選が先日あったが、FMゆうがおでも(開票速報を)放送されたということで。市議選は姿勢に関する非常に重要なものだが、結果的に極めて低い投票率だった。

市議選を取材し結果を報道したということになるが、ケーブルテレビさんは開票速報を、新聞は紙面で開票の結果を掲載していて、ラジオで同じことをしても意味がないと思うが、市議選の報道についてどのように取り組んだのか。

市長選が今度あるが、地元ということで選挙に対して関心を喚起するような番組編成があっても良いのではないか。「選挙に行きましょう」というのは選管の仕事かも知れないが、そういった盛り上げるようなことも報道の役割かと思う。

事業者：

まず投票日や期日前投票といった事務的な告知に関しては、市のインフォメーションやピタッとラジオなどの番組でも周知した。

選挙そのものは、我々は報道機関とは考えておらず、あくまで地域の事実を伝えるのが役割と考えているので、当日の投票終了後に2時間の特別番組を初の試みとして実施した。

各候補の得票率・得票数を淡々と伝えたが、初の試みとあって複雑なことはしなかった。ただ、速報は新聞さんより早く、ケーブルテレビさんと同じくらいに早かったと思う。

しかし、選挙について評論や解説をする立場にないと考えているので、あえて避けた。

ただ、選挙への関心を惹く情報や、投票日の周知などはかなりしたつもりである。

今回は体制が整っていなかった等の状況もあり、各候補への取材などはしなかったが、何年か先になる次回の選挙ではそういったこともできるようにして行きたい。

小島委員：

「街が舞台だ」という、地元高校生が参加して地域を元気づけ地域に定着していただくプロジェクトを市でやっているが、これには関係しているか。

事業者：

直接関わってはいないが、地域おこし協力隊の鈴木さんが「ピタッとラジオ」を中心にPRしたり経過報告をしている。

小島委員：

高校生が今地元に見えない。地元の高校では今何をしているのだろう、と。こういったプロジェクトを通して高校生に地域の良さを知ってもらい、地域に定着して欲しい。

こういったことをもっと採り上げていただければ。

根橋委員：

(4月に始まった)高校生の番組にはどんな反響があるか。

事業者：

始まって2ヶ月になる。リスナーは大人がまだ中心のようで、高校生なのに大人っぽいなどの感想が寄せられたり、高校生がする話題が大人にはまったりという反応もある。

土曜の夜という地味な時間帯ではあるが反響は思いの外届いていて、激励の言葉が多い。

### 3. その他

事務局：

第11回の議事録について、出席委員の氏名を、小谷野委員のままで記載してしまった。先ほど山内委員長からご指摘があり、伊澤委員が正しく、訂正させていただく。

以上、11時30分に閉会した。